

まずは
知ることから

災害の知識

大雨

〜おおあめ〜

◆大雨を知ろう

大 雨とは、その名の通り「雨が大量に降る」ことですが、これは「災害が発生する恐れのある雨」ということであり、土砂災害や浸水等の可能性があることを意味します。

●集中豪雨

短期間のうちに狭い範囲に集中して降る大雨を集中豪雨とよんでいます。非常に激しい雨が、何時間も同じ場所に降り続けると、大きな災害となります。

集中豪雨は毎年のように各地で発生しており、平成21年7月中国・九州北部豪雨などの大雨災害の多くは集中豪雨によるものです。

被害を防ぎ、被害を最小限におさえるため、気象状況を把握して早めの対応を心がけましょう。

地域によっては、すぐに避難を始めなくても大丈夫な場所もあります。まずはハザードマップを確認しましょう。

大雨から身を守るポイント

遠く離れた場所の雨にも注意

自分のいる場所で強い雨が降っていないくても、上流で降った雨が流れてきて、危険な状態になる場合があります。



注意報や警報に注意

大雨による災害はある程度予測ができます。雨が降っている時は、気象情報や雨量、水位の状況等に注意しましょう。



地下やまわりより低い場所に注意

地下や他の場所より低くなっている土地は洪水が発生しやすい地形です。大雨の時は注意しましょう。



短時間の雨でも、強さ・激しさによっては注意

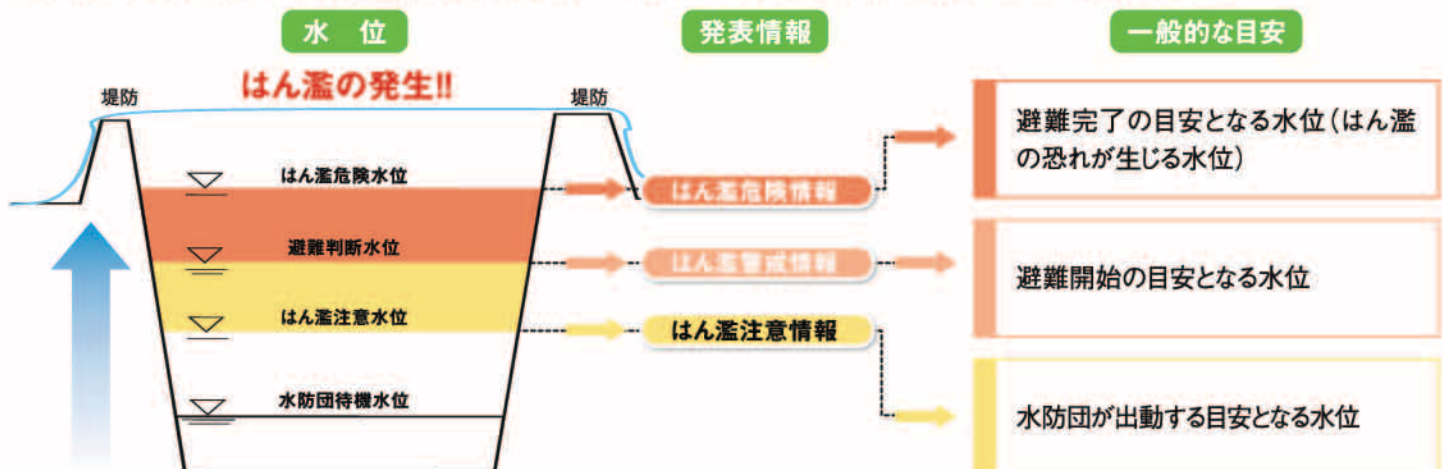
河川、用水路等は、激しい雨が降ることやまわりから雨が流れ込むことで、短時間の雨でも増水することがあります。



降水量の
増える

**6・7月
必読!!**

▼水位名称・洪水予報・避難行動の目安 ※防災メール、市防災気象情報、携帯サイトで確認できます。



※「雨の強さと被害」をP.16に掲載しています。ご確認ください。